

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2000/10/30 Vol. 51 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 12 年第 3 回定例会報告 (5)

いつもお世話になっております。今回は定例会報告をお休みさせていただきましたが、今回は印西市議会(9月定例会)報告を行って参ります。

議案審議とその結果(3)

今回はこの定例会で議案となり、審議がされたものを抜粋して報告して参りたいと思います。本来は全て報告するのが当然ですが、紙面の都合上割愛させていただく案件もございますので、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい

印西市基本構想を定めることについて

- * 印西市基本構想は、市民のニーズの多様化、住民活動への参画を通して、自主的に創造的な施策を展開するための指針として策定され、市民、行政、民間企業、そしてボランティア団体等がそれぞれの役割を担い、相互支援と協調、協同体制による地域や都市の運営を目指しております。
- * 印西市基本構想は、以下の将来都市像を目標としております。

人と自然が笑顔でつながるまち - いんざい

人を思いやり、自然を守り、ものを大切にして、市民が積極的・創造的に健康な生活が営める、自助、互助、公助による安全・安心なまち

- * **将来都市像実現のための6つの柱(基本施策の大綱)**
(カッコ内は6つの柱を実現するための項目です。参考までに各基本施策を展開するための項目を列記します。)

1. 緑豊かな自然を生かす持続的なまちづくり

(自然環境保護 / 循環型社会 / 地球環境保護)

2. 互いに支えあい心が通うまちづくり

(福祉(高齢者福祉の充実 / 児童福祉の充実等)、健康、医療 等)

3. 多彩な産業が育つ活力あるまちづくり

(農業 / 商業・業務 / 工業 / 地域資源の活用 / 雇用の促進 等)

4. 豊かな文化を創造するまちづくり

(青少年教育、生涯学習、国際化、スポーツレクリエーション 等)

5. 暮らしやすい都市機能のあるまちづくり

(土地利用計画 / 交通 公共交通の整備、充実 / 道路 / 生活環境 等)

6. 市民と共に歩み育むまちづくり

(市民参画 / 情報公開 / コミュニティ形成 / 広域行政 / 行財政改革 等)

これら6つの柱は独立して存在するものではなく、まちづくりの目的に応じて互いに組合い、関わりながら進めていくものです。

この議案 / 印西市基本構想の策定の審議に先立ち、わたしは次ページのような点から執行部に質問を投げかけ、回答を得ました。抜粋し、ご紹介します。

(1) この構想ができるまでの過程について

一般職員に対しての勉強会が何回程度開かれたか？

回答 / 特に勉強会という形では開かれていないが、日頃より問題意識をもって業務にあたるように指導している。

(2) 財政の見とおしについて

市としての独自課税は考えているのか？どのような産業振興策を考えているのか？

回答 / 今後、基本計画の策定を通して他の自治体の例を参考にしながら、考えていきたい。

(採決の結果 / 可決) 私は以下の通り、賛成の討論を行いました。

この基本構想とは、これから先10年の新たな時代の市民と行政の街づくりに対する、共通の指針となるもので、将来展望のもとに着実な行政運営をすすめ、市民の幸せの実現を目指して行くものです。今回の基本構想は21世紀の地方分権を踏まえて作成したものである、という質問に対する回答をいただきました。

私がお願いしたいのは、縦割りの行政ではなく全庁をあげての市民の為の役所です。

例えば、名古屋市で洪水がありました。これは河川行政と都市計画行政といった縦割り行政の弊害であろうといわざるをえないと思います。立ちかえって我が印西市でも例はないかと探してみれば、「木下地区」の活性化です。伝統のある街です。是非とも、防災課、都市計画課、産業課(観光局)等々が一体となり、(一例として木下をあげましたが、)10年後には印西市が素晴らしい街になることを期待し、私もまた尽力していきたいと思いません。また、この基本構想の採決の後、第1次基本計画や実施計画が作成されるとの話も聞きました。私は是非この計画のなかで、この基本構想のウリであるところの「市民参加」を体言化していただければと思います。それは「市民参加条例」といったものや「自治基本条例」、「まちづくり基本条例」といったものです。そのなかでも是非とも、「まちづくりの基本原則」、「住民参加の推進」、「まちづくりの施策の評価、意見、要望への対応および権利救済」、そして「自治体連携」といったものを(その条例案のなかに)盛り込んでいただき、市民と共に市民の意見や要望を聞き、10年後、この構想に基づき、また基本計画や実施計画を実行し、素晴らしい印西市、人と自然が笑顔でつながるまち-いんざいを実現していただければと思います。難しいことであろうと思います。しかし、初めからできないというものはできません。基本構想ができあがるのです。皆様、ひとりひとりの心がけと努力できっと実現できると思います。

教育委員会委員の任命につき同意を求める件について

教育委員会は5人で組織され、そのうち、1名が教育長となります。

今回は、任期満了にともない、教育委員2名の任命について、同意が求められました。

(同意1号) 富田洋子氏

(同意2号) 佐藤幸納氏

市は、この2人の選任にあたり、審査当日になり、資料(生年月日を含む略歴等)を議員に提示しました。お2人の何を基準に教育委員にふさわしいかを決定すればいいのでしょうか？教育は将来がある子ども達にとり非常に重要なものです。お2人の考えや、今までの実績を簡単なA4の1枚の資料で判断するというのは非常に難しいと思います。

私は、お2人とも「同意しない」という立場に回りました。それは、簡略な資料をみでの判断は難しいという考えが一つと、略歴を見た上で、実績が示されていない、印西に住んでいない、年齢が高い等々の理由から、今回は反対に回りました。

(結果は、お2人とも議会の同意を受け、任命されております。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会の報告を行って参りたいと思います。よろしく願い申し上げます。 ぐんじとしのり